

研究報告書表紙レイアウト（参考）

厚生労働行政推進調査事業費補助金

地域医療基盤開発研究事業

医師の労働時間短縮のための手法に関する検討

（令和）3年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 馬場 秀夫

（令和）4（2022）年 5月

研究報告書目次

目 次

I. 総括研究報告	
医師の労働時間短縮のための手法に関する検討-----	1
馬場秀夫	
II. 分担研究報告	
1. 医師の労働時間短縮のための手法に関する検討-----	2
掛地 吉弘	
2. 医師の労働時間短縮のための手法に関する検討-----	3
武富 紹信	
3. 医師の労働時間短縮のための手法に関する検討-----	4
平井 俊範	
4. 医師の労働時間短縮のための手法に関する検討-----	6
生田 義浩	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	7

2022年 4月 4日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 国立大学法人熊本大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 小川 久雄

次の職員の(元号) 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業
- 研究課題名 医師の労働時間短縮のための手法に関する検討
- 研究者名 (所属部署・職名) 国立大学法人熊本大学 大学院生命科学研究部 消化器外科学・教授
(氏名・フリガナ) 馬場 秀夫・ババ ヒデオ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

- (※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。
 (※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 4年 4月 18日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 国立大学法人神戸大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 藤澤 正人

次の職員の令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医師の労働時間短縮のための手法に関する検討

3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医学研究科・教授

(氏名・フリガナ) 掛地 吉弘・カケジ ヨシヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 北海道大学

所属研究機関長 職名 総長

氏名 寶金 清博

次の職員の令和3年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医師の労働時間短縮のための手法に関する検討

3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医学研究院 教授

(氏名・フリガナ) 武富 紹信 (タケトミ アキノブ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2022年 4月 4日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 国立大学法人熊本大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 小川 久雄

次の職員の(元号) 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業
- 研究課題名 医師の労働時間短縮のための手法に関する検討
- 研究者名 (所属部署・職名) 大学院生命科学研究部・教授
(氏名・フリガナ) 平井 俊範・ヒライ ヨシノリ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---------------------------------------------------------------------

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2022年 4月 4日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 国立大学法人熊本大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 小川 久雄

次の職員の(元号) 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医師の労働時間短縮のための手法に関する検討

3. 研究者名 (所属部署・職名) 病院・准教授

(氏名・フリガナ) 生田 義浩・イクタ ヨシヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名 称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況 受講 未受講

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定 有 無 (無の場合はその理由:)

当研究機関におけるCOI委員会設置の有無 有 無 (無の場合は委託先機関:)

当研究に係るCOIについての報告・審査の有無 有 無 (無の場合はその理由:)

当研究に係るCOIについての指導・管理の有無 有 無 (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

別紙4

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
無し							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
無し					

「厚生労働科学研究費における倫理審査及び利益相反の管理の状況に関する報告について
(平成26年4月14日科発0414第5号)」の別紙に定める様式(参考)

年 月 日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名

所属研究機関長 職 名

氏 名 _____

次の職員の(元号) 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 _____
2. 研究課題名 _____
3. 研究者名 (所属部署・職名) _____
(氏名・フリガナ) _____

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: _____)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況 受講 未受講

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定 有 無 (無の場合はその理由: _____)

当研究機関におけるCOI委員会設置の有無 有 無 (無の場合は委託先機関: _____)

当研究に係るCOIについての報告・審査の有無 有 無 (無の場合はその理由: _____)

当研究に係るCOIについての指導・管理の有無 有 無 (有の場合はその内容: _____)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

<p>厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進 研究事業）研究計画書 （総括）研究報告書 医師の労働時間短縮のための手法に関する検討 研究代表者 馬場 秀夫 熊本大学大学院生命科学研究部・消化器外科学 教授</p>	
<p>研究要旨</p> <p>医師の労働時間の短縮のため、タスクシフティング/タスクシェアリングが可能な業務のうち、説明と同意の取得等において、定型化可能な業務を抽出し、時間短縮のための資料を作成する。</p>	
<p>馬場 秀夫 熊本大学大学院生命科学研究部・消化器外科学 教授</p> <p>A. 研究目的 医師の時間外労働の上限規制が適用される2024年4月に向け、「厚生労働省の「医師の働き方改革に関する検討会」がとりまとめた報告書において、医師の労働時間短縮のためには「医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化（タスク・シフティング、タスク・シェアリング）」を徹底して取り組んでいく必要があるとされた。現行制度の下で実施可能な業務のうち特に推進するものとして、患者への説明と同意の取得、各種書類の下書き・仮作成、診察前の予診・問診、患者の誘導が挙げられている。 本研究においては、これらにおける定型的な対応が可能な業務を抽出し、当該事項についてのDVD等の資料の作成やその有効性の検証等を行い、各医療機関における実装を進めることで、医師の働き方改革に関わる一連の制度の円滑な運用に資することを目的とする。</p> <p>B. 研究方法 3年間を研究期間と計画し、1年目である2021年度はタスク・シフト/シェアの推進において、現行制度の下で実施可能な業務のうち特に推進するとされた業務のなかから、定型的業務の抽出を行った。 研究代表者の所属施設において同意書取得の件数について、各診療科および同意書の種類ごとに集計、分類した。また、その結果について研究班や所属学会（日本外科学会）等で共有し、次年度に作成予定の資料の内容について検討した （倫理面への配慮） 本年においては、定型業務の抽出として既に匿名化され、かつ対応表のない情報のみを扱っており、倫理的な問題はないものと判断する。</p> <p>C. 研究結果 2020年4月～6月における熊本大学全体での同意書取得件数は27710件であった。診療科別の上位3診療科は消化器内科（3867件）、消化器外科（3559件）、循環器内科（1860件）であった。同意書の種類としては画像診断（造影CT、MRI、PET-CT）に関する同意書が6293件（23%）と最も多く、続いて輸血に関する同意書（2745件；10%）、手術に関する同意書（1653件；6%）、内視鏡に関する同意書（1535件；5%）、麻酔に関する同意書（1363件；5%）で、これらでおおよそ半数を占め</p>	<p>消化器外科のみでは画像診断1314件（37%）、輸血465件（13%）、麻酔192件（6%）、手術116件（3%）であった。</p> <p>D. 考察 診療科別においては手術や内視鏡、カテーテル検査等の侵襲的手技が多い診療科において同意書取得件数が多く、種類毎では全診療科で共通する画像診断（造影検査）が最も多く、続いて上述の侵襲的手技に関連する内容の同意書取得件数が多いものと考えられた。侵襲的手技については各手技によって内容が異なることから、画像診断、輸血、麻酔等の同意書について定型的な内容を資料化することで説明と同意の取得に関する時間の短縮が得られるものと考えた。</p> <p>E. 結論 取得件数の多い同意書のなかで定型的な内容について資料を作成することで汎用性の高い資料が作成できるものとする。今回の抽出結果を受けて、動画の作成等を行う。資料の作成にあたっては、関連団体及び医療機関の協力を得て、電子カルテ等院内システムの状況を問わない、汎用性の高い資料の作成を目標とする。</p> <p>F. 健康危険情報 特になし</p> <p>G. 研究発表 1. 論文発表 2. 学会発表 （発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）</p> <p>H. 知的財産権の出願・登録状況 （予定を含む。） 1. 特許取得 特になし 2. 実用新案登録 特になし 3. その他 特になし</p>

厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
（分担）研究報告書

医師の労働時間短縮のための手法に関する検討

研究分担者 掛地 吉弘 神戸大学大学院医学研究科外科学講座食道胃腸外科学分野教授

研究要旨

医師の労働時間の短縮のため、勤務医の労働時間についてアンケート調査に協力した。仕事に割かれる時間が多く、労働時間を減らしたいとの回答が約7割を占めていた。医師業務の中で、患者への説明・同意書の作成に時間をとられており、特に検査や侵襲的手技についてのものが多かった。汎用性の高い検査、侵襲的手技について動画資料を作成し、労働時間短縮効果を図っていく。

A. 研究目的

医師の時間外労働の上限規制が適用される2024年4月に向け、医師労働時間短縮計画を作成する必要がある。医師の労働時間の正確な把握と、医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化が求められる。本研究においては、1. 勤務医の労働時間の実態と働き方に対する意識を把握する、2. 医師業務で時間をとられている患者への説明・同意書の作成を特定・抽出し、動画資料の作成による業務負担軽減を図る、ことを目的とする。

B. 研究方法

1. 厚生労働省が取り組む医師の働き方改革の推進に関する検討会が設けた、勤務医に対する情報発信に関する作業部会によるアンケート調査に協力し、労働時間の実態、働き方改革の制度認知について調べた。
2. 研究代表者の所属施設において診療科別に患者への説明と同意書の取得件数を調べた結果を研究班で共有し、次年度に作成予定の資料の内容について検討した。

C. 研究結果

1. 当大学病院と関連3施設が協力し、計10医療機関の勤務医に対するアンケート結果が作業部会で集計された。
有効回答数：1,175（回収率29.2%）
①自身の働き方について：1日の活動時間の7割以上を仕事に割いていると回答した医師が約8割を占め、9割以上と回答した医師も約2割存在した。回答者の約7割が今後労働時間を「少し減らしたい」「もっと減らしたい」と回答した。
②医師の働き方改革の制度認知について：回答者の半数以上が「よく知っている」「ある程度知っている」と回答する一方で、各上限水準の内容や宿日直許可基準の内容については、「全く知らない」という回答が約半数を占め

た。若年層の認知度が低く、年代が上がるにつれて認知度が向上した。

2. 2020年4月～6月における熊本大学全体での同意書取得件数は27710件であった。診療科別では消化器内科、消化器外科、循環器内科が多く、同意書の種類としては画像診断、輸血、手術、内視鏡、麻酔に関する同意書が多かった。

D. 考察

1. 勤務医の労働時間について、限られた施設、人数ではあるが、業務量が多く、労働時間が多くなっている現状が把握できた。医師以外でもできる業務が人手不足で医師がやらざるを得ない状況が課題である。時間内勤務と時間外勤務の規定や報酬の整備、自己研鑽の考え方について十分な議論と無理のない改革が望まれる。
2. 患者への説明・同意について、画像診断、内視鏡、カテーテル等の検査や、輸血、麻酔、手術等の侵襲的手技について件数が多く、時間を割かれている。各々について定型的な内容を資料化することで説明と同意の取得に関する時間の短縮が得られると考えられた。

E. 結論

勤務医は過剰な労働時間を強いられており、医師業務の移管や共同化が必要である。患者への説明・同意について、汎用性の高い動画資料の作成で医師業務の負担軽減を図っていく。

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
（分担）研究報告書

医師の労働時間短縮のための手法に関する検討

研究分担者 武富 紹信 北海道大学大学院消化器外科 I 教授

研究要旨

長時間労働が予想される大学勤務外科医師の労働時間について検討した。大学病院勤務外科医師の平均年間超過勤務時間数は 532.8 時間（学外勤務時間を除く）であり、さらに役職別および専門分野別に異なることが明らかとなった。

A. 研究目的

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の改正により、2024年4月から医師に対する時間外労働の上限規制の適用が開始される。その対応策として医師労働時間短縮計画を作成する必要がある。医師の労働時間の正確な把握が必要となっている。今回、労働時間短縮計画の礎とすることを目的とし、長時間労働が予想される大学病院に勤務する外科医師の超過勤務時間を1年間にわたって検証した。

B. 研究方法

大学病院消化器外科に勤務する26名の外科医師（男性24名、女性2名。スタッフ医師(准教授、講師、助教)11名、医員8名、専攻医7名）について、年間超過勤務時間数を調査した。

C. 研究結果

平均年間超過勤務時間数は532.8時間（最小208.5～最大838.1）であった。役職別の平均年間超過勤務時間(hrs)はスタッフ 435.4:医員 510.8:専攻医 711.1であった。一方、専門疾患別（専攻医を除く19名が対象）では、消化管(n=6)374.4:小児(n=3)384.4:肝胆膵・移植(n=10)494.9であった。

D. 考察

スタッフ、医員、専攻医と若手になるほど超過勤務時間は延長していた。ただし、A水準（年960時間）を超える者はおらず、学外労働時間を加えても、労働時間短縮計画を綿密に策定することで大学勤務外科医師でもA水準に到達できる可能性が示された。一方、肝胆膵外科

や移植外科などの長時間手術が多い専門分野に従事する外科医師は超過勤務時間が長い傾向にあり、専門性を加味した労働時間短縮計画が必要であることがわかった。

E. 結論

大学病院勤務外科医師の学外勤務時間を除く平均年間超過勤務時間数は532.8時間であり、役職別および専門分野別に異なることが明らかとなった。

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
（分担）研究報告書

医師の労働時間短縮のための手法に関する検討

研究分担者 平井 俊範 熊本大学大学院生命科学研究部放射線診断学教授

研究要旨

タスク・シフト/シェアの推進において、現行制度の下で実施可能な業務のうち特に推進するとされた業務のなかから、定型的業務の抽出を行い、その抽出をした定型的業務に関する資材の作成を行う。その作成をした各資材の有用性の検証と実装を行い、全国的に利用可能な形に標準化するとともに汎用性を高める。

A. 研究目的

厚生労働省の「医師の働き方改革に関する検討会」がとりまとめた報告書において、医師の労働時間短縮のためには「医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化（タスク・シフティング、タスク・シェアリング）」を徹底して取り組んでいく必要があるとされた。そのタスク・シフト/シェアにおいて現行制度の下で実施可能な業務のうち特に推進するものとして、患者への説明と同意の取得、各種書類の下書き・仮作成、診察前の予診・問診、患者の誘導が挙げられている。医師が行う業務には、患者毎に医学的な判断のもと異なった対応を必要とする業務がある一方、上述の特に推進するとされたタスク・シフト/シェア対象の業務は、一定程度、定型的な対応が可能であると考えられる。これらの業務についてタスク・シフト/シェアを推進するに当たっては、定型事項に関して、音声付き動画による説明（検査・輸血・麻酔・手術他）用のDVD等の資材を作成することで、医師の説明時間の大幅な短縮と業務の効率化が図られ、臨床に極めて有用と考えられる。

本研究においては、そうした定型的な対応が可能業務を抽出し、当該事項についてのDVD等の資材の作成やその有効性の検証等を行い、各医療機関における実装を進めることで、医師の働き方改革に関わる一連の制度の円滑な運用に資することを目的とする。

B. 研究方法

2021年度は、タスク・シフト/シェアの推進において、現行制度の下で実施可能な業務のうち特に推進するとされた業務のなかから、定型的業務の抽出を行う。抽出にあたっては、業務を標準化し、幅広く展開することを鑑み、「有資格者ではない医師事務作業補助者であっても定型的に行える業務」を抽出の視点とし、医師事務作業補助者研究会等の関連団体へのヒアリング、医師事務作業補助者を活用し、タスク・シフト/シェアの推進を行っている（又は行おうとしている）医療機関における実態調査を踏まえ、抽出を行うこととする。一般的に医師の業務の中で、説明と同意取得に

時間を要する業務として、CTや内視鏡などの各種検査、輸血、麻酔、各種手術等が考えられる。これらの業務に関して医師事務作業補助者でも行える業務（あくまで概略の説明であり、必要に応じて医師が補足説明することが前提）を抽出する。

2022年度には、1年目に抽出をした定型的業務に関する資材の作成を行う。患者への説明動画といった資材の開発、予診や問診といった患者から情報収集をする際に用いる項目のリスト化、各種書類仮作成に用いる定型文の作成等が想定される。資材の作成にあたっては、初年度に引き続き、関連団体及び医療機関の協力を得て、電子カルテ等院内システムの状況を問わない、汎用性の高い資材の作成を目標とする。

2023年度には、2年目に作成をした各資材の有用性の検証を行い、適宜改善を加え、医療機関における実装を開始する。具体的には10病院程度を目標として、医師事務作業補助者等の医師以外の職種に作成した各資材を使用して業務を実施してもらい、業務実施者及び患者へのアンケート調査等を通じて課題を抽出し、必要な見直しを行う。また、各資材を使用して業務を実施した場合の医師の労働時間の短縮効果についても調査を行う。

（倫理面への配慮）

本年においては、定型業務の抽出として既に匿名化され、かつ対応表のない情報のみを扱っており、倫理的な問題は無いものと判断する。

C. 研究結果

2021年度については提携すべき業務の抽出を行うべく、研究代表者の所属施設において同意書取得の件数について、各診療科および同意書の種類ごとに集計、分類した。2020年4月～6月における熊本大学全体での同意書取得件数は27710件であった。診療科別の上位3診療科は消化器内科（3867件）、消化器外科（3559件）、循環器内科（1860件）であった。同意書の種類としては画像診断（造影CT、MRI、PET-CT）に関する同意書が6293件と最も多く、続いて輸血に関する同意書（2745件）、

手術に関する同意書（1653件）、内視鏡に関する同意書（1535件）、麻酔に関する同意書（1363件）でおよそ半数を占めていた。

D. 考察

同意書取得に関して、診療科別では、手術や内視鏡、カテーテル検査等の侵襲的手技が多い消化器内科、消化器外科、循環器内科において取得件数が多く、また同意書の種類別では全診療科に共通する画像診断（造影検査）が最も多かった。同意書取得件数が最も多い全診療科に共通する画像診断の造影検査（造影CT等）の説明・同意書について定型的な内容を資材化することが、医師の説明・同意の取得に関する時間の短縮に最も効果的ではないかと考えられた。今後、造影CT等の説明・同意書取得に関する資材を開発していく予定である。

E. 結論

同意書は全診療科に共通する画像診断の造影検査（造影CT、造影MRI）に関するものが最も多く、定型的な内容を資材化することで、医師の説明・同意の取得に関する時間の短縮に寄与するのではないかと考えられた。

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
（分担）研究報告書

医師の労働時間短縮のための手法に関する検討

研究分担者 生田 義浩 熊本大学病院中央手術部准教授

研究要旨

医師の労働時間短縮のためには「医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化（タスク・シフティング、タスク・シェアリング）」を徹底して取り組んでいく必要がある。本研究では、患者への説明用動画（各種検査・輸血・麻酔・手術等）といった資材の開発、予診や問診といった患者から情報収集をする際に用いる項目のリスト化、各種書類仮作成に用いる定型文の作成等を行う。

A. 研究目的

「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」において、現行制度の下で実施可能な業務のうち、特に推進するとされた業務のなかから、定型的業務を抽出する。

B. 研究方法

代表者及び分担者で会議を行い、今後の方向性を決定する。また、事前に熊本大学病院麻酔科医師へのアンケート調査を行い、同意書取得の時間削減に関与する因子を抽出し、会議の参考とした。

C. 研究結果

麻酔科医師アンケートでは、術前診察時の同意書取得に関する麻酔の説明・合併症の説明に多くの時間が消費されるとの意見が多かった。

会議では、今後の方向性として、代表的な術式・手技及び麻酔科の同意書取得の補助となる資材の作成を行うことを決定した。

D. 考察

医師の時間外労働削減のために、麻酔科に関しては、同意書取得に直接的に関係する資材（一般的な合併症まで説明する）の作成は有効であると考えられる。

E. 結論

同意書は全診療科に共通する画像診断の造影検査（造影CT、造影MRI）に関するものが最も多く、定型的な内容を資材化することで、

医師の説明・同意の取得に関する時間の短縮に寄与するのではないかと考えられた。

G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

